

# 令和5年度補正予算の概要

## スポーツ庁

### 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

14億円

休日の部活動の段階的な地域クラブ活動への移行と地域スポーツ環境の一体的な整備に向け、地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定し、政策課題への対応を早急に推進するとともに、新たに実証事業が可能となった地方公共団体において、実証事業を実施する。また、課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等を行う。

### 2024パリオリンピック・パラリンピック競技大会におけるハイパフォーマンス・サポート拠点の機能整備関連経費

12億円

2024パリオリンピック・パラリンピック競技大会において、我が国のアスリートが安全・安心に競技に臨めるよう、各選手に最適な環境の提供を目的としたサポート拠点の設置準備を行う。

### 体育・スポーツ施設の整備（学校施設環境改善交付金）

16億円

学校のプール・武道場の新改築、地域の拠点となる運動場・体育館・プール・武道場等の新改築事業など地方自治体が行う体育・スポーツ施設の整備に対して支援を行う。特に、地方自治体が整備したスポーツ施設の空調新設工事について、重点的に支援を行う。

### 障害者スポーツ 実施環境の構築支援・拠点整備事業

6億円

地域におけるパラスポーツの拠点である障害者スポーツセンターや地域のスポーツ施設に障害者スポーツ用具を充実させ、障害のある人とない人がともに、身近な地域で気軽に運動・スポーツに楽しめる環境を構築するため、都道府県・政令市障害者スポーツ協会、都道府県・市区町村、障害者スポーツ中央競技団体、障害者スポーツセンター等が、障害者スポーツの体験会や継続的なスポーツ活動を実施するために必要な障害者スポーツ用具の整備・導入を促進する。

### ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）におけるトレーニング環境の省エネ化・安全化対策

14億円

我が国の国際競技力向上の中核を担っているHPSCのスポーツ医・科学、情報等に関するサポート機能、高度なトレーニング環境を確保するとともに、HPSC機能の更なる向上を図るための環境整備を実施する。

### 国立登山研修所の機能強化等

6億円

周辺地域の避難施設にも指定されている国立登山研修所について、建物並びに設備の老朽化が進行しており、その適切な運用・管理、利用者の安全確保、登山者のニーズに対応する観点から、早期の修繕等が求められる状況であり、各施設の機能強化及び修繕のための実施設計、本館の改修等を実施する。

# 部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備

令和5年度補正予算額 15億円※  
※うちスポーツ庁：14億円



## 方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ✓ 子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ✓ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

## 事業内容

休日の部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の一体的な整備に向け、**地域スポーツ・文化芸術環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定し、政策課題への対応を早急に推進**するとともに、**新たに実証事業が可能となった地方公共団体において、実証事業を実施**する。また、**課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等を行う。**

### (1) 重点地域における政策課題への対応

地域スポーツ・文化芸術環境の整備に先導的に取り組む都道府県を**重点地域として指定**し、政策課題に取り組むことで、**早急に政策課題の解決策を確立**する。

#### 主な政策課題

- ✓ 多様なスポーツ・文化芸術体験の機会の提供
- ✓ 高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
- ✓ スクールバスの活用や地域公共交通との連携
- ✓ 不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
- ✓ トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
- ✓ 体育・スポーツ・文化芸術系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート・アーティスト人材等の活用
- ✓ 学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツ・文化芸術の活動拠点づくり
- ✓ 企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用等

### (2) 地域クラブ活動への移行に向けた実証 ※取組例

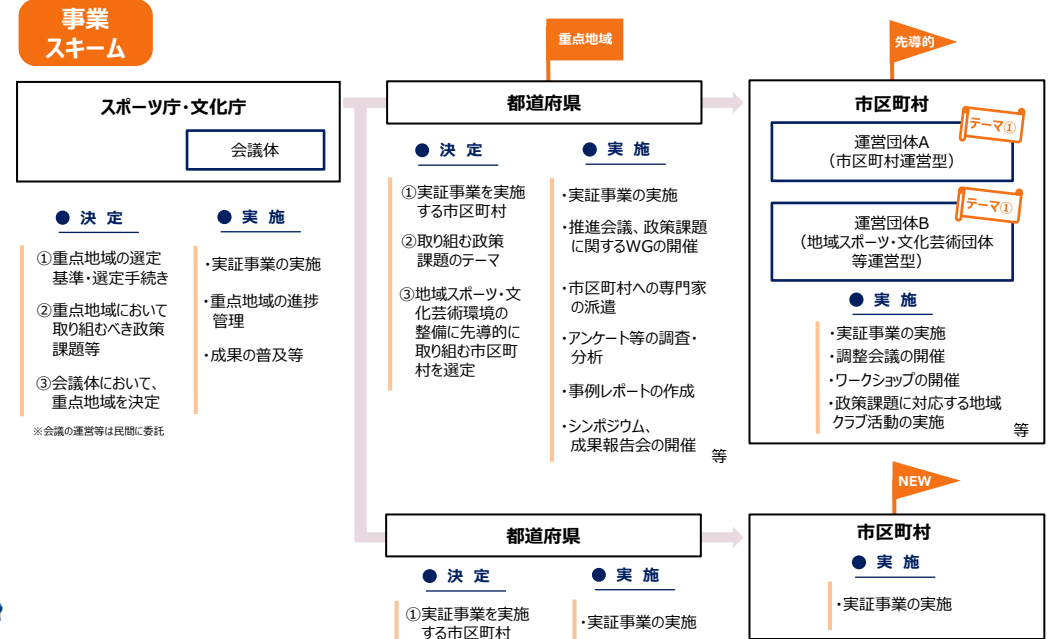
各都道府県・市区町村の**地域スポーツ・文化芸術活動の推進体制等**の下で、**コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業について、新たに実施が可能となった市区町村において実施**し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を推進する。

- 体制整備**
  - 関係団体・市区町村等との連絡調整
  - コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方
  - 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保
- 指導者の質の保障・量の確保**
  - 人材の発掘・マッチング・配置
  - 研修、資格取得促進
  - 平日・休日の一貫指導
  - ICTの有効活用
- 関係団体・分野との連携強化**
  - スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、大学、企業等
  - 研修、資格取得促進
  - スポーツ推進委員、地域おこし協力隊
  - まちづくり・地域公共交通
- 面的・広域的な取組**
  - 地域クラブ活動の拡大
  - 市区町村等を超えた取組
- 内容の充実**
  - 複数種目、シーズン制
  - 体験型キャンプ
  - レクリエーション的活動
- 参加費用負担支援等**
  - 困窮世帯の支援
  - 費用負担の在り方
- 学校施設の活用等**
  - 効果的な活用や管理方法

※ 平日・休日の一貫指導や市区町村を超えた取組など、地域の実情に応じた最適化・体験格差の解消を図る意欲的な取組を充実。

### (3) 課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等

- ✓ 事業成果の普及方策、地域クラブ活動の整備の進展に伴う新たな課題の整理・解決策の検討
- ✓ 運営形態の種類や競技・分野ごとの地域クラブ活動のモデル・プロセス、組織マネジメント等の分析・検証
- ✓ 単一自治体での対応が困難な場合の地域クラブ活動の整備促進方策の検討 等



## インパクト (国民・社会への影響)

休日の部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の一体的な整備に向けた取り組みを行うことで、子供たちのスポーツ・文化芸術活動の最適化による体験格差の解消に寄与する。

\* 本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「文化芸術」には、障害者芸術を含む。

# 2024パリオリンピック・パラリンピック競技大会におけるハイパフォーマンス・サポート拠点の機能整備関連経費

令和5年度補正予算額 12億円



## 目的

2024パリオリンピック・パラリンピック競技大会（以下2024パリ大会）において、我が国のアスリートが好成績を収めることができるように、自国の選手に適した良好な環境の提供を目的としたサポート施設を設置する。

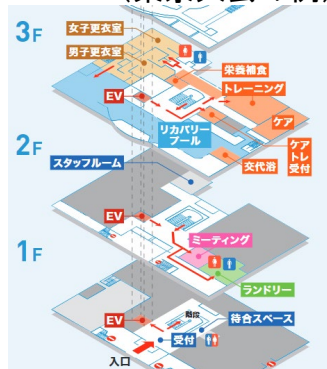
## 事業内容

- ・ 2024パリ大会において我が国のアスリートが好成績を収めることができるように、競技直前の準備に必要な支援施設を設置。
- ・ 自国の選手に適した良好な環境を構築するため、コンディショニング、パフォーマンス分析、情報戦略、リラックス等の医・科学、情報サポート体制を整備。
- ・ 競技成績向上のために、自国環境と変わらない十分なサポート提供の準備を行う。

### サポート施設の借り上げ、改修、運営(食事提供含む)、サポート機器の設置

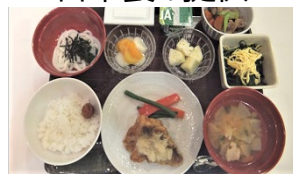
2024パリ大会の競技会場の近隣の施設を借り上げ、競技力向上を図るための設備・サポート体制構築を実施するために改修や、備品の整備などの準備を行う。

#### <サポート機能構築> (東京大会の例)



#### <サポート内容> (過去大会の例)

##### 日本食の提供



##### 戦略スペースの確保



##### トレーニング機器



##### リカバリー機器



#### <施策効果>

##### 【コンディショニング&リカバリー向上】

- セラピー
- リカバリープール
- トレーニング

##### 【パフォーマンス分析実施】

- 映像フィードバック
- 映像編集
- アスリート・コーチ・スタッフのミーティング

##### 【情報戦略の実施】

- 戦況分析
- 日本選手団との連携・調整

##### 【リラックス&リフレッシュ効果向上】

- リラックススペース
- ランドリー

## 成果イメージ

2024パリ大会が、令和6年7月26日から9月8日に開催されることから、施設設置、トレーニング環境整備に必要となる工事契約や物品の調達を今年度内に実施する。本事業におけるアスリートやコーチへの大規模なサポートの実施等を通じて、我が国のアスリートが過去最高水準の金メダル獲得数、メダル獲得総数、入賞等の目標を実現し、国際競技力の向上に重要な役割を果たすとともに、国民の誇りや喜び、感動につながりスポーツへの関心を高め、これを通じて国に活力をもたらす。

# 体育・スポーツ施設の整備 (学校施設環境改善交付金)

令和5年度補正予算額 16億円

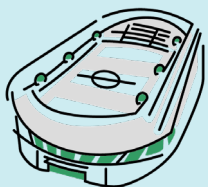


## 目的

学校体育施設・社会体育施設の老朽化がピークを迎える中、地域の多様なニーズに応じた施設の整備を推進する。また、快適なスポーツ環境を整備・促進させるため、空調設備の新設を重点的に支援する。

## 事業内容

### スポーツをする場の確保



- 学校のプール、武道場の新改築等
- 地域の拠点となる運動場、体育館、プール、武道場等の新改築 等

### 安全・安心な環境整備の推進

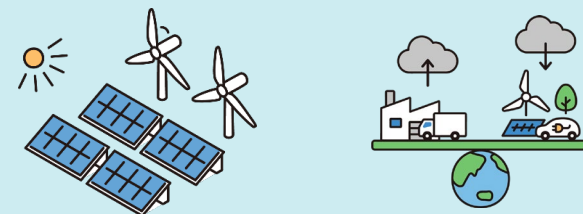


空調の設置・改修

防災対応

- スポーツ施設の耐震化（構造体・非構造部材）
- 熱中症対策としての空調の設置・改修 等

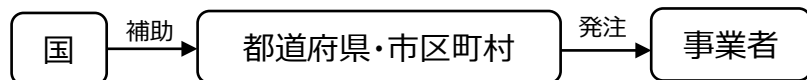
### 脱炭素社会の推進



太陽光発電の設置

- 太陽光発電等の設置
- 建具の断熱性・気密性を向上するための改修
- 高効率型照明器具、点滅・調光装置の導入
- 省エネ空調の設置・改修 等

## 事業スキーム



補助率：原則1/3

※社会体育施設の空調設備の新設及び太陽光発電等にかかる事業は1/2

## 事業効果

- ✓ 環境に優しい地域のスポーツ施設を増やし、脱炭素社会の実現に貢献する。
- ✓ 子どもから障害者まで安全・安心に利用できるスポーツ環境を支援することで、スポーツ実施率の向上に寄与する。特に、体育館について、災害時に安全・安心で快適な環境になるよう環境整備を促進する。



## 事業の目的

障害のある人が継続的にスポーツを実施するためには、障害のある人ない人がともにスポーツを実施する環境整備と障害のある人が身近な環境でスポーツを実施するためのアクセス改善が必要である。本事業では、地域の障害者スポーツ振興の拠点である「障害者スポーツセンター」やより身近にあるスポーツ施設に障害者スポーツ用具を整備し、障害のある人が身近な地域で気軽に運動・スポーツに楽しめる環境を構築することを目的とする。

## 事業の内容

都道府県・政令市障害者スポーツ協会、都道府県・市区町村、障害者スポーツ中央競技団体、障害者スポーツセンター等が、障害者スポーツの体験会や継続的なスポーツ活動を実施するために必要な障害者スポーツ用具（※）の整備・導入し、障害のある人ない人がともにスポーツを楽しむ機会を創出する。特に、2025デフリンピックを睨み、デフスポーツの普及・振興に向けた環境整備も推進する。

※スポーツ用車椅子などの個人が使用する用具のほか、用具に付随するタイヤ等の用品、ネット・仮設床材等の競技の実施に必要なものなどを含む。



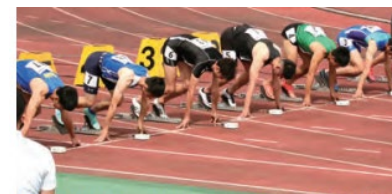
①スタートランプ

スタート合図を光で伝える装置。



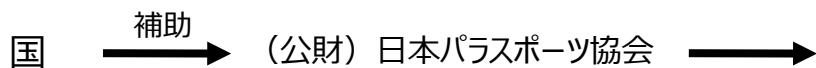
「On your marks」 「Set」 「Bang!」

等



選手が見やすい場所に設置することができる

## 施策のスキーム



- 都道府県・政令市障害者スポーツ協会
- 都道府県・市区町村
- 障害者スポーツ中央競技団体
- 障害者スポーツセンター

## 補助率

定額補助

## インパクト（国民・社会への影響）

地域の障害者スポーツ振興の拠点である「障害者スポーツセンター」や地域のスポーツ施設に障害者スポーツ用具を整備することにより、障害のある人のアクセス改善を図るとともに障害のある人ない人がともに継続的にスポーツを実施する環境が整備され、障害のある人のスポーツ実施率の向上とスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する。

# ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）における トレーニング環境の省エネ化・安全化対策

令和5年度補正予算額 14億円



## 背景・課題

ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）は、国立スポーツ科学センター（JISS）とナショナルトレーニングセンター（NTC）が持つスポーツ医・科学、情報サポート及び高度な科学的トレーニング環境を提供し、我が国の国際競技力向上の中核を担う重要な施設であるが、多くの施設設備が耐用年数を経過するなど、老朽化により、大規模な不具合が発生する可能性が増大している。

平成25年に政府により取りまとめられた「インフラ長寿命化基本計画」等に基づき、（独）日本スポーツ振興センター（JSC）が策定した「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」も踏まえつつ、将来にわたりトップアスリートをはじめとする施設利用者が安全・安心にトレーニングを行うための環境を整備する。

## 事業内容

### ①省エネルギー対策工事

導入後長い年数が経過し耐用年数を大幅に超過している機器を中心に、照明、給水、空調等の設備を省エネルギー性能の高い機器に更新する。



### ②施設設備のバリアフリー化

JISSのバリアフリー対応を順次進めることにより、将来的にパラリンピック選手がHPSC施設全体を制限なく利用できる環境を目指して、必要な設備の整備を進める。



### ③エレベーター安全対策工事

JISS・NTCの既存エレベータが建築基準法改正により、既存不適合となっていることから、安全対策工事を行うことにより、トップアスリートが安全・安心してJISS・NTCを利用できるよう安全対策を行う。



### ④アスリートサポートシステム更改

トップアスリートを支えている各種システムについて、耐用年数を超過する無線ネットワーク機器等や基盤設備を順次更改するとともに、利用者の利便向上のためのアプリ改修など、必要な機能の確保を行う。



### ⑤スポーツ医・科学支援の機能向上・高度化事業

アスリートの外傷・障害発生リスクの早期把握を行うためなどの機器類を更新することにより、機能強化を図り、スポーツ医・科学支援の機能向上・高度化を図る。



## 成果イメージ

トップアスリートの日常の練習施設として活用されるNTCや、スポーツ医・科学支援等を行うJISSの施設更新・機能強化等を行うことにより、トップアスリートが最大限のパフォーマンスを発揮でき、また、安全・安心にトレーニングを行える環境を提供することが可能となり、オリンピック競技大会等において、今後も継続した好成績の獲得が期待できる。

## 背景・課題

独立行政法人日本スポーツ振興センターが設置する国立登山研修所（富山県立山町）は、登山指導者養成のための研修会開催、一般登山者向けの安全登山情報の発信、登山者の動向や志向の調査分析、登山関係団体のための施設提供など、我が国の登山事故の防止に努めるとともに、登山の発展を担う重要な施設であるが、建物及び設備の老朽化が進んでいる。

同研修所は、周辺地域の避難施設にも指定されており、その適切な運用・管理、利用者の安全確保などの観点から、早期の修繕等が求められる状況であるため、各施設の機能強化及び修繕のための実施設計、本館の改修等を実施する。

## 事業の内容

### （1）国立登山研修所の機能強化及び修繕のための実施設計

同研修所は、本館・夏山前進基地・冬山前進基地で構成され、近年の多様化・高度化する登山者のニーズを踏まえつつ、老朽化等の状況等も考慮して、各施設の修繕に係る実施設計を行う。

### （2）国立登山研修所本館等改修等の実施

（1）で行った実施設計を基に、老朽化が著しい施設の改修等を行う。



本館

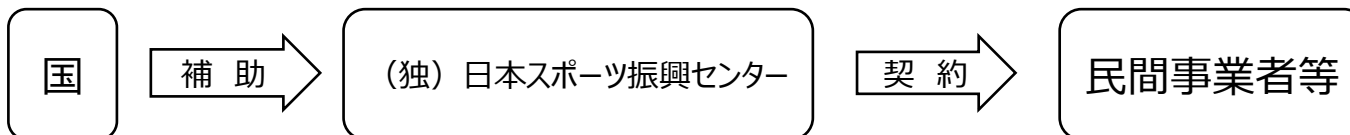


夏山前進基地



冬山前進基地

## 事業スキーム



## 成果イメージ

同研修所の機能強化、修繕を図ることにより、利用者の安全確保をはじめ、多様化・高度化する登山者のニーズ等に対応した研修の環境・プログラムを提供することが可能となり、山岳遭難事故の発生件数・遭難者数の減少に寄与することが期待できる。